

第12回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました（令和6年3月11日）

王寺町では平成30年5月に策定した「王寺駅周辺地区まちづくり基本構想」に基づき、第8回より、民間活力を活かした拠点機能の集約・向上を目指し、駅南エリアについて検討を進めてきましたが、令和5年12月1日に西和医療センターの移転・再整備候補地が斑鳩町に決定されたことを受け、今回の第12回をもって、王寺駅周辺再整備推進会議については、一旦休止とすることとしました。

テーマ | 王寺駅周辺再整備推進会議の今後の方向性について

事務局より、西和医療センターの移転・再整備候補地の決定等の報告を行い、今後の王寺駅南エリアのまちづくりへの助言等について、参加者に意見を求めました。

町からの報告事項

- ・ 昨年の12月1日に西和医療センターの移転・再整備候補地が、斑鳩町になったと発表があった。
- ・ 南エリアにおける、まちづくりの核がなくなったため、今後どのように進めていくのか、まだ定まっていない。
- ・ 王寺町としては、西和医療センターの移転がなくなったとしても、駅前広場の再整備を進めたいという考えは変わっておらず、引き続き検討していく。
- ・ 推進会議については、一旦休止とさせていただき、分科会で地元の意見を集約し、地域が1つになった段階で、再度、推進会議を開催させていただきたいので、その際はご協力をお願いする。

主な意見

- ・ 地元の意見を最大限に生かせるよう、検討していただきたい。（井村委員）
- ・ 王寺駅は、キスアンドライドの利用がほとんどで、駅周辺に立ち寄り、にぎわいを創出するという考え方に基いたまちづくりがされていない。自動車が多いからといって自動車の空間を増やすと、人は立ち寄らず、通過点となり、いつまでも発展しない。（村上委員）
- ・ 南駅前自治会の会員には、生活住民と事業者の2つの立場があることから、分科会で話をまとめるのは容易ではないが、分科会の開催により、少しはまちづくりが進んでいくと考える。（寺川委員）
- ・ 町の特性を生かす方法は、地元の方々の意見にヒントがあると思うので、そこを上手く活用できればよいのではないかと思う。（岸田委員）
- ・ 町の玄関口である駅前広場が、安全で利便性が高ければ、町全体の魅力の向上につながる。また、魅力のある駅前広場ができることで、周辺のテナントに良い影響が出るのではないかと思う。（大野委員）
- ・ 意見をまとめると、議論すべき点は2つある。まず1つは、動線が混乱し、混雑している駅前広場の解消。もう1つは、駅周辺の活性化など、王寺駅南エリア全体のまちづくりをどうしていくのかということ。この2つに共通しているのは、今後、自動車を増やす方向ではなく、歩行者と公共交通を軸に駅前を整備するということであると思う。南エリア全体のまちづくりの方向性は、地元の意見を聞いてまとめるべきであるが、駅前広場の整備については、技術的な問題も大きいことから、どのような事業手法があるのかなど、並行して独自に検討しないと中々前に進まないのではないか。（中山委員）